



We are the **HAGUKUMI**

- 県もも・プラム品評会開催 2
- はるなプラム部出荷総会 3
- 高崎市からのお知らせ 6
- はるなの梨まつり開催 7

今月の写真「果樹園を盗難から守ろう」（関連記事は2ページ）



はぐくみ

2026年

No. 347

8

August



ホームページ

<https://www.ja-hagukumi.or.jp>



◀プラムのヘタもしっかりチェック

群

良質な果実が
勢ぞろい



馬県園芸協会と高崎市は
るな果樹振興協議会は共

んま担当者9名が審査員としてそ
れぞれの形状・外観・品質（大き
さ・着色・糖度・食味など）に

催で「第43回
県もも品評
会」、「第39回
県プラム品評
会」を群馬県
庁1階県民
ホールで開催
しました。当
日は県内から
モモの出品点
数が14点、プ
ラムが33点、
ジャンボプラ
ムが9点出品
されました。
農業技術セン
ターや全農ぐ

わたり厳密に審査を行いま
した。代表して、県園芸協
会プラム分科会の高橋哲会
長（はるなプラム部会長）
が「日頃は生育管理や技術
指導を賜り感謝したい。大
きな自然災害もなく順調に
育った果実を厳密に審査願
いたい。」と挨拶。審査員
の講評では「モモの出荷点
数が少なく残念であった
が、モモ・プラムともそれ
ぞれ甲乙つけがたく僅差で
あった。」と総括されまし
た。

10時からは一般販売も行
われ県庁を訪れた方々がモ
モにプラムにと、お買い求めさ
れました。

JAはぐくみ管内の出品者の結
果は以下の通りです。

「県もも品評会特別賞受賞者」

●県農業協同組合中央会

●代表理事会長賞

●上毛新聞社賞

●全農県本部運営委員会会長賞

富岡 光行

赤尾 浩史

松田 好央

「県プラム品評会特別賞受賞者」

●群馬県知事賞

●県議会議長賞

●県農業協同組合中央会

●代表理事会長賞

●上毛新聞社賞

乾 浩彰

富岡 実希

倉橋 信英

松本 敦史



▲大盛況な一般販売

高

地域全体で
果樹盗難の
防止を

崎北警察署は7月30日午
前10時、JA西部営農セ
ンターにおいて果樹園警戒出発式
を開催しました。

協力する5つの団体が参加。全
国的に農産青果物の盗難がまだ
に多く、九州地方の梨農家は莫大
な被害を受けています。

高崎北警察署の笠原浩之署長
は、「過去には当管内でも盗難の
被害は発生しており、警察を始め
地域住民や行政と連携して盗難防
止の取り組みを行っていく。」と
挨拶。警察車両を先頭にパトロー
ルのロゴを付けた車両・バイクな
ど12台が行進して出発。今後は高
崎市榛名・箕郷地域を中心として
盗難の警戒を行います。清水晋西
部営農センター長は「精魂込めて
育てた果実を、確実に販売できる
よう、地域とともに協力してい
く。」と話しました。

高品質な プラムを 目指して 出荷総会

は

るなプラム
部は7月3

日、西部営農センターで、出荷総会を開催しました。当日は、部員や市場担当者、行政担当者など約40人が参加。市場担当者を代表して東京千住青果株式会社 果実部 井出勤次長が、「産地と卸と販売店が三位一体となつてプラムの販売に努めたい。」と挨拶。市場担当者の視線から見たプラムの魅力や出荷に際して注意すべき事項を確認しました。

出荷総会では、共選開始日や集荷規格、共選時間などを申し合わせ。JA西部営農センターの担当者が栽培履歴や出荷伝票の記入方



▲市場担当者を代表して挨拶

法を、同センター長が西部農業事務所の資料に基づいて病虫害防除などを説明した。高橋哲部長は、「今年は豊作ではないが品質は非常に良い。梅雨明け後、猛暑が予想されるので、体調管理に努め、優良品質なプラムを消費者に届けよう」と呼び掛けました。

夏の暑さに 負けない 生育管理を

J

Aはぐくみ里見梨部・里東梨部は6月29日、合同

で「梨 夏季管理講習会」を開催しました。総勢29人が参加するなか、県西部農業事務所担い手・園芸課 武藤補佐が、今年の気候状況を確認しながら、「樹勢は適正であるか」、「貯蔵養分が多く、養分転換期以降も生育が順調であるか」などを視点に、夏場の管理法を指導しました。実が大きくなる時期の見直し摘果として「軸折れ果」「変形果」「傷果」などを説



▲誘引を確認する部員

明。また、新梢管理として、品種ごとに誘引の方法を丁寧の実演。枝の誘引により、農薬の効果を最大限に発揮させるとともに、側枝の枝太りを防止し使用年数を延長する効果が期待できると説明しました。さらに、別の園地に移動して、収量などが期待できる新品种「群馬N2号（仮称）へ一挙更新（梨の成木の枝に品種更新させるために穂木を接ぎ木する方法）を説明。実際に、接ぎ木一年経過後の樹勢などを確認しました。新たな品種として消費者に届けられるよう意見交換なども熱心に交わされました。



▲生育状況を確認し、意見交換

第287回 農作業のユツ



Agriculture

西部農業事務所 担い手・園芸課

お問い合わせはこちらまで… 027-321-3600

ウメ収穫後の管理について ～ウメ園での害虫多発～

今年度の収穫は無事終わりました。しかし、近年、問題となっている、モモヒメヨコバイやクビアカツヤカミキリはウメ収穫後に発生し、今後の梅生産に対し、大きな被害をもたらす可能性があります。そのため、今後の収穫後管理が大切になってきます。

1. モモヒメヨコバイ

(1) 形態及び生態

成虫の体色は黄緑色で体長は3～

3.5mmです(写真1)。複眼は黒色で、頭頂部に黒点があります。若齢幼虫は薄い黄色で、成長して終齢幼虫になると、成虫と同じ黄緑色に変化します。

3月上旬の展葉とともに、成虫が樹上に確認され始め、それ以降は幼虫と成虫が葉に混在しています。11月中旬以降は再び成虫のみとなり、落葉とともに確認されなくなりま

(2) 被害症状について

被害は、幼虫と成虫による葉の吸汁で、被害葉にはカスリ状の細かい斑点が多数でき、葉が白っぽく見えます(写真2)。このような状態では、光合成能力が低下し、樹勢および収量への影響が懸念されます。さらに、葉の被害が甚大になると早期に落葉し、同化養分の貯蔵が阻害され、来年の作柄に大きく影響します。

(3) 防除について

防除暦では、モモヒメヨコバイが急増する梅雨明け直後から8月中旬までに薬剤を散布します。梅雨明け以降

降は園内の発生状況を定期的に確認し、多発する前の適期防除に努めましょう。



写真1 モモヒメヨコバイ成虫



写真2 ウメの被害葉

2. クビアカツヤカミキリ

一般的なカミキリムシ類に比べ、幼虫が樹体内を摂食する量が多く、繁殖力も強いいため、被害を受ける

写真3 クビアカツヤカミキリ成虫

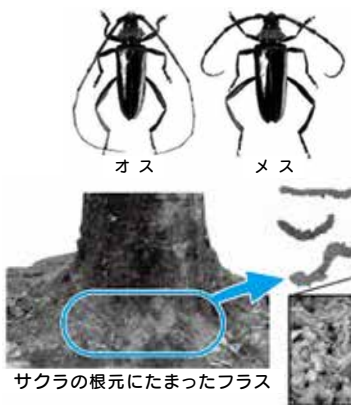


写真4 クビアカツヤカミキリの被害

と樹勢衰弱や枯死など農業生産に深刻なダメージを及ぼします。

成虫の体長は20～40mmで、体全体はツヤのある黒色をしており、赤色の胸部「クビ」が特徴です(写真3)。卵から孵化した幼虫は自ら樹体内に食入し、フラスと呼ばれる糞と木くずの混合物を排出します(写真4)。

クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているため、成虫を発見したら、その場ですぐに捕殺してください。なお、成虫は8月末まで発生していますので、防除暦による収穫後(7月)の定期防除が未実施の場合は必ず薬剤の散布をお願いします。また、直接幼虫を捕殺することが最も効果的ですので、フラスの排出があつた場合は、孔道に沿ってマイナストライバー等で樹皮を剥ぎ、幼虫を見つけ捕殺します(写真5)。

見つかからない場合は、食入孔に樹幹注入剤のノズルを差し込み噴射してください。なお、樹幹注入剤の効果があつた場合でも、成虫の飛散を防止できる食入孔への小枝等(割り箸でも可能)の挿入や、ネット巻きをしておくとも効果的です(写真6)。

3. 最後に

モモヒメヨコバイやクビアカツヤカミキリは、ウメの生育や収量に大きな影響を及ぼす害虫です。被害を最小限に抑えるためには、日頃から樹の状態を観察し、異変を早期に見することが重要です。

異変など発見しましたら、お近くの市町村担当窓口もしくは、西部農業事務所担い手・園芸課へご相談ください。

(西部農業事務所 担い手・園芸課

園芸係 岡崎 勇人)



写真6 食入孔への枝の挿入

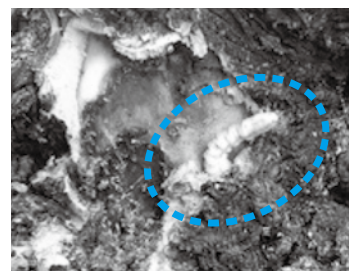


写真5 樹皮を剥ぎ幼虫を捕殺

あなたも
チャレンジ!
家庭菜園

ホウレンソウ

石灰資材で
酸性土を矯正する

園芸研究家 ● 成松次郎

ホウレンソウはビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜です。特に日本人に不足しがちなビタミンB群(中でも造血作用に関係する葉酸)や鉄分、カリウムを多く含んでいます。

冷涼な気候を好み、生育適温は15〜20℃です。耐寒性は強いものの暑さには弱く、25℃以上になると生育が衰えてしまいます。

関東以西の地域では、夏取り以外は栽培が容易で、特に冬取り(2、3月収穫)のホウレンソウは栄養価が高く、甘さも増しておいしいです。

【品種】秋取り(10、11月収穫)では、生

図1 種まき

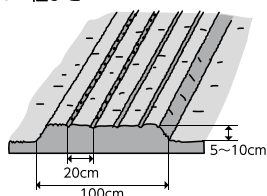


図2 ベタがけ

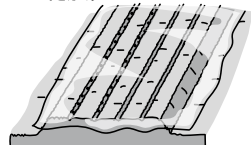
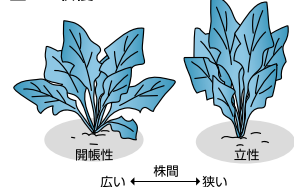


図3 間引き



図4 収穫



育の良い「アトラス」(サカタのタネ)、「福兵衛」(タキイ種苗)など、冬取りでは寒さに強い「クロノス」(サカタのタネ)、「伸兵衛」(タキイ種苗)などが良いでしょう。

【畑の準備】ホウレンソウは酸性土を嫌います。土壌が酸性になると土壌中のアルミニウムが溶け出し、これが根の伸長を抑制するといわれています。そのため、アルカリ性である苦土石灰をまいて酸性土を矯正しましょう。

事前に1平方メートルあたり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方メートルあたり化成肥料(NPK各成分10%)200gと堆肥2詰を土とよく混ぜて、幅100cm、高さ5〜10cmの栽培床を作ります。

【種まき】適期は9〜10月です。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1、2cmのまき溝を切ります。このとき、園芸用支柱などを土に押し付けて平らなまき溝を作ると良いでしょう。その後、1cm間隔に種まきします(図1)。

種まき後は約1cm覆土をして、たっぷり灌水します。そして、不織布

のべたがけをして風雨や害虫から幼苗を守ります(図2)。

【間引き・追肥】1回目の間引きは、発芽そろったときに込み合っている所を抜き取ります。その後、2、3回に分けて間引きをして、最終的に株間4、5cmにします(図3)。

栽培期間が長くなる10、11月までは、草丈10〜15cmの頃に1平方メートルあたり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします。

【病害虫防除】ヨトウムシは見つけ次第捕殺し、アブラムシは、登録農薬で防除します。ただし、生育初期は不織布をべたがけして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】株間が広い(疎植)と、どの葉にも光が当たるように広がり(開帳性)、反対に株間が狭い(密植)と葉は細く、立ち上がった草姿(立性)になる傾向があります(図4)。草丈25cmを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて300gくらいを目安に束ねます。

高崎市からのお知らせ

「地域計画における協議の場」の開催について

地域計画とは、地域農業を維持するために、誰が・どこで・どんな作物を・どのように栽培するのか、これから先の地域の農業の姿を話し合い、作り上げていく将来計画です。また、地域計画に担い手として位置付けられていることが、農地の貸借や補助事業を活用する際の条件となる場合もあります。

本年度1回目の協議の場は、下記のとおり開催します。

協議の場には誰でも参加できますが、特に次のような方の参加をお待ちしております。

- 該当する地域で担い手として位置付けられている方・位置付けを希望する方
- 該当する地域で耕作していない農地を所有している方（またはご家族）
- 該当する地域で空き農地を探している農業者の方

参加をご希望の方は該当地域の開催日1週間前までに、
各支所までご連絡ください。

群馬地域：群馬支所建設課（直通：027-373-2461）

倉淵地域：倉淵支所農林建設課（直通：027-378-4527）

榛名地域：榛名支所産業観光課（直通：027-374-6712）

箕郷地域：箕郷支所産業課（直通：027-371-9057）

地 域	開催日	曜日	開始時刻	会 場
群 馬	9月14日	(月)	14:00	群馬福祉会館2階 会議室
倉 淵	9月15日	(火)	14:00	くらぶち小栗の里2階 多目的ホール
榛 名	9月16日	(水)	14:00	J Aはぐくみ西部営農センター 2階 大研修室
箕 郷	9月18日	(金)	14:00	箕郷公民館2階 大会議室

お得に年金受け取りができる！ 年金無料相談会のご案内

9月5日(土) 榛名支店

📍 高崎市上里見町360-1

☎ TEL:027-374-0039

開催時間 9:00～11:30

10月3日(土) 群馬支店

📍 高崎市棟高町435-1

☎ TEL:027-373-2355

開催時間 9:00～11:30

💰 どなたでもお気軽にご来店・ご相談ください。🐷

第37回

フルーツ忍者ハルナ
梨之助も登場!

イベントプログラム

- 梨及び農産物等の直売(なくなり次第終了)
- 10:00 ステージイベント
(太鼓・八木節の演奏、チアリーディング)
- 11:00 梨之助とジャンケン大会
- 12:00 梨の皮むき大会
(参加券50枚は11:30より本部で配布)
- 13:30 抽選会(参加券400枚は13:00より本部で配布)

マルシェ ハルヒロも
あそびにくるよ!

手作りの雑貨やアクセサリなどの販売
ヘッドマッサージや各種ワークショップを開催!

縁日広場もあるよ!!

輪投げや射的、ぬりえコーナーなど

そろそろ食べ頃 榛名の梨

幸水、豊水、あきづき、8月中旬～
二十世紀、南水など 10月上旬

※はるなくだもの街(国道406号沿)や
久留無選果場で直売しています。

キッチンカーも
たくさん集合!

HPでも
お知らせします



主催/はるなの梨まつり実行委員会
後援/高崎市・高崎市はるな果樹振興協議会・榛名観光協会
JAはぐくみ・榛名湖温泉ゆうすげ

お問い合わせ

高崎市榛名支所産業観光課
TEL 027-374-5111

はるなの 梨まつり

楽しいイベント
盛りだくさん!

2026年 小雨決行

9月12日土

10:00~14:00

会場/榛名文化会館
エコール 前庭



食味分析計・米色彩選別機のご案内

JAはぐくみと倉渕の米6次産業研究会は平成30年度から倉渕産米のブランド化に向けた取り組みを共同で進めています。
今年度におきましても米の品質向上とブランド化促進のため稼働しますので、ぜひご利用ください。

当JA管内の方であればどなたでもご利用いただけます。



サタケ
「ピカ選SMART」
FGS-2000S

食味分析計 利用案内

測定場所	くらぶち事業所 (高崎市倉渕町三ノ倉303)
対象品目	玄米
受付期間	9月24日(木)～12月4日(金)
測定日	月・水・金曜日(祝祭日は除く)
時間	午前9時30分～11時30分
料金	1回1検体につき1,500円(税込) (研究会員は1,000円(税込))

※1検体測定量として460g以上をお持ちください。
※支払いは現金のみをお願いします。

色彩選別機 利用案内

設置場所	くらぶち事業所 (高崎市倉渕町三ノ倉303)
対象品目	玄米
受付期間	9月1日(火)～3月26日(金)
受付方法	原則予約受付
利用日	J Aの営業日内
時間	午前8時30分～11時30分
料金	組合員330円(税込) / 30kg (員外は440円(税込))

※1品目につき150kg(30kg×5袋)以上で受付致します。
※仕上がりについては基本30kg(1袋)とします。なお、異物などの混入が多い物は料金が異なる場合があります。

詳しくはくらぶち事業所(☎027-378-3110)までお問い合わせください。

も・し・もの時は、おまかせ下さい。

JAはぐくみ
葬祭センター **0120-64-5940** (事前相談 受付中)

はるな葬祭センター(ふれあい倶楽部) **TEL 360-8080**

病院からのお迎え・ご葬儀の準備・終了までご連絡いただければ、速やかに手配・お手伝いさせていただきます。
ご喪家の立場に立ってご予算に応じて厳粛なご葬儀が行えます。

提携業者 ●JA全農ぐんま ●株式会社アリエッセ ●櫻井式典有限公司 ●有限会社えぼし葬祭

JA全農ぐんま アリエッセ 櫻井式典 有限会社えぼし葬祭

**みなさんの
お助けに 無料法律相談**

田中善信・二階堂慎法律事務所より顧問弁護士をお迎えして法律全般についてご相談にお答えします。

開催日 **9/17(木)・10/15(木)** 会場 **JAはぐくみ 本店会議室**

※中止の場合はホームページにてお知らせします。

相談は予約制ですので、前日までに各支店窓口へお申し込み下さい。
当日は午後2時からの開始で、申込順に順次ご案内致します。

青果物受付の休日カレンダー

9	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
●の日は 青果物受付の 休日です。	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

みんなのはぐくみ

●組合員数	6,949人	6月末現在
(うち准組合員)	3437人)	
●出資金	9億9,931万円	
●貯金総額	517億5,658万円	
●貸出金総額	70億336万円	
●長期共済保有額	1,459億1,556万円	
●農産物販売総額	5億6,022万円	
●購買品供給総額	2億8,251万円	